

大手神社の絵馬

手の神様として知られる大手神社には両手・片手図の絵馬が数多く奉納されている。  
この種の絵馬は、手の病一切の治療祈願、機械技術向上、芸事上達を祈願して奉納されたものである。

「かかあ天下に空っ風」  
足利の女は働きもの  
足利地方は音に聞こえた機業地  
沢山の機織工女が人身売買同様に 苦しい年季奉公に泣いた  
早く機織技術が上手になって  
借金が返せ  
故郷に一日も早く帰りたい  
少女たちは小さな「白い手」の絵馬に願いを託した  
大手様の絵馬には 1万6千枚を越える白い手の絵馬が重なり合い 救いを求める  
少女たちの手のように思える  
どの絵馬も 乏しい給金の中から求めたものが  
小さなのは 哀しい



現在も沢山の絵馬が奉納されている

そんな少女たちの汗と涙が 足利織物を日本一にした

手の病一切 学芸上達



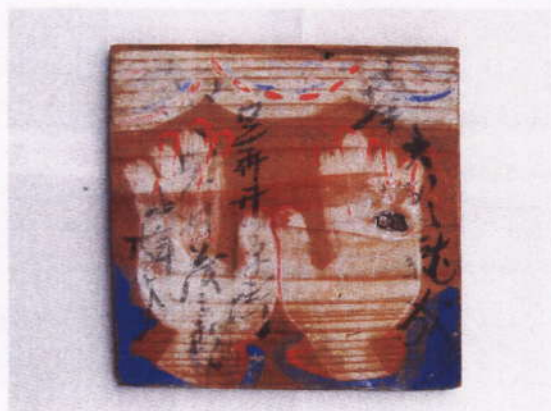
片手図



両手図



両手図



両手図